

平成30年度主催事業「わくわくキャンプ」事業報告

- 開催日：平成30年12月1日～12月2日
- 参加者数：参加者26名 学生ボランティア 14名
- 会場：国立夜須高原青少年自然の家・サンビレッジ茜



事業のねらい

聴覚に障がいのある子どもたちが自然体験活動を通して、障がいのある子ども達同士、または、大学生や青年の家の職員と交流し、コミュニケーション手段の選択及び活用する力を伸ばすことを目的としています。



参加前に・・・

キャンプは自力で乗り切ることを理解してもらうために、子ども達には事前に3つの宿題を出しました。

- ・キャンプネームを考えること
- ・「自己紹介すごろく」をして、質問に対する答えを考えること
- ・キャンプの準備を自分ですること



夜須に向けて出発～♪

子ども達は、それぞれ博多駅・小倉駅・久留米駅・直方駅などに集合しました。電車に乗るところからキャンプの始まりです。（現地に集合した子ども達もいました。）駅には大学生と青年の家の職員がお出迎え。キャンプの看板を見つけ、嬉しそうに走ってくる子どももいました。



活動1 すごろくで自己紹介！ 1日目 11:00～

出会いの集いでは、「自己紹介すごろく」をしました。すごろくには「好きな遊びは？」、「キャンプで楽しみにしていることは？」、「遊園地で好きなアトラクションは？」などと書かれたマスがあります。子ども達は、止まったマスの質問に、手話や身振り手振りなどで一生懸命答えていました。仲間の発表を真剣に聞く姿もすばらしかったです。





活動2 ボブスレーで仲良くなろう 13:00~

参加者の親睦を深め、連帯感を高めるためにボブスレーをしました。低学年の子ども達は大学生のみなさんと一緒に滑られて、ニコニコ。この日は暖かく、顔に当たる風も気持ちよさそうでした。滑り終えた子ども達は、思い思いの気持ちを仲間と伝え合っていました。大学生のみなさんがボブスレーの後ろからギュッと優しく子ども達を包み込んでいる姿も印象的でした。



活動3 野外で夕食を作る 15:30~

夕食は自分達の力で作りました。今回のメニューは、鉄板焼きそばと豚汁です。薪係と調理係に分かれ、班で協力して臨みました。普段から家でお手伝いをしているのでしょうか、包丁でリズムよく野菜を切る姿がたくさん見られました。大きな鉄板の上で10人分の焼きそばを作っている姿は、屋台で働いている人のように迫力がありました。少し寒くなってきた空の下、自分達で作った温かい料理を満足そうに食べていました。



夕食を終えた班は、暖かいたき火を囲みながら、ゆったりとした時間を過ごしました。真っ暗な中でたき火を眺めていると、何とも言えない落ち着いた気持ちになりますね。



活動4 森の材料でおしゃれなクラフト 19:00~

初日最後のプログラムは「森の写真立て作り」です。材料は、杉の木、どんぐり・松ぼっくり・栗の殻等、英彦山で採れた物。子ども達は、どんぐりに顔をかいだり、松ぼっくりに色をつけてクリスマスっぽくしたりしながら、かわいい写真立てに仕上げていました。わくわくキャンプの写真を飾ってくれたら、とても嬉しいですね。



活動5 最後は芝スキー 2日目 9:00~

2日目はサンビレッジ茜に移動して、芝スキーに挑戦です。これまでの経験に即して3つのグループに分かれ、練習を行いました。インストラクターの方の丁寧なご指導と大学生によるマンツーマンの補助のおかげで、子ども達もどんどん滑られるようになり、笑顔も増えていきました。感想にも「滑られるようになって嬉しかった」と、また1つ子ども達の自信につながったことが分かりました。



全体を通して

事前に宿題として出していた自己紹介を考えたり、キャンプの準備を自分で行ったりすることを、大勢の子ども達が取り組んできていました。キャンプの中でも、すぐに助けを求めるのではなく、自力で挑戦したり、仲間と相談をしたりしながら、解決を図る姿が見られました。準備を含めたこの1泊2日の中で、子ども達の自主性を高めることにつながったのではないかと感じました。最後の振り返りでは、友達のよさを見つけていた子どももたくさんいたことから、仲間とのかかわりもしっかりと持つことができたのだなと思いました。

今後も「初めて」の自然体験活動を通して、子ども達のコミュニケーション力を伸ばしたり、「やればできる」という自信をもたせたりすることに取り組んでいきたいと思います。参加してくれた皆さん、また来年会えるのを楽しみにしています。そして、最後まで子ども達に温かく寄り添ってくださった大学生のみなさん、本当にありがとうございました！

ふりかえり		12月1日(土)		1日目	
どれかに○を つけてね!	できだ!	まあまあ	あまり	せんぜん	
自分のことは自分でし めましたか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
友だちと協 ^{きょう} 力して最後 までやりぬきましたか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
自然や施設を大切にで きましたか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

*自分ががんばったこと、友達ががんばったことなどを書こう。
努力^{めいり}も描いて。

火おこしの時に目がいたかったけど最後
までよきを入れたり、あおいで
火をおこしてアゲハ蝶^{テントウ}がよかった。

[]君や []君などみんな
が[]後までがんばってたのです。

学生ボランティアさんから
かんべりと最後までがんばりました!
まき手もがんばってくれたのかいで、おひる一時子と
おさしだけ食べられました(笑)
朝日はステキな朝もうね! イイさん

【振り返りのアンケート】